

〇〇〇〇学級・〇〇〇〇学級 外国語活動学習活動案

指導者 〇〇〇〇学級（弱視） 〇〇 〇〇
 〇〇〇〇学級（知的） 〇〇 〇〇

1. 題材名 ハロウィンパーティーをしよう ～ “Trick or treat.” ～

2. 指導観

〇〇〇〇学級の子どもたちと〇〇〇〇学級の子どもたちは、同校の特別支援学級でありながらこれまでに主な交流の経験がない。儀式的行事の際に隣りに整列したり、休み時間に特定の児童が教室を訪ねて一緒にものを介して関わったりしている。学習での交流の経験がないため、互いのことを知り、主体的に関わろうとする姿はまだ見られない。

そこで、子どもたちの大好きな行事を通して、その中で使われる英語に親しむとともに互いが関わり合える経験を積むひとつの機会としていきたい。

このことにより、「ともにパーティーをした友だち」「一緒に英語で活動をした友だち」と相手を意識し、今後の学校生活の中でも進んで関わろうとする子どもの姿が見られるようになることを考える。

3. ねらい

- ハロウィンパーティーを通して、先生や〇〇〇〇・〇〇〇〇学級の友だちと進んで関わるができる。
- 英単語 witch, black cat や“Trick or treat.” など簡単な英語表現に親しむことができる。

4. 活動計画（全3時間）

計画	第1時	第2時（本時）
ね ら い	○ハロウィンパーティーの計画を立て、準備をする。 ○簡単な英語表現に親しむ。	○ハロウィンパーティーをする。 ○簡単な英語表現に親しむ。
主 な 言 語 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ・ Hello. ・ witch ・ black cat ・ I am ～. ・ Good-bye to you. 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Hello. ・ witch ・ black cat ・ I am ～. ・ Good-bye to you. ・ Trick or treat. ・ up ・ down ・ right ・ left ・ ghost ・ bat
主 な 活 動 内 容	ハロウィンパーティーの計画・準備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 日時 ・ どこで ・ だれと（自己紹介） ・ 何をする ・ 飾り付け 	ハロウィンパーティー <ul style="list-style-type: none"> ・ コスチュームに着替えてあいさつ ・ 歌 ・ ゲーム1 ・ ゲーム2 ・ 歌

5. 本時のねらい

- ハロウィンパーティーを通して、先生や〇〇〇〇・〇〇〇〇学級の友だちと進んで関わるができる。
- “Trick or treat.” “Thank you.”など簡単な英語表現に親しむことができる。

6. 本時の考え方

- 〇〇〇〇・〇〇〇〇学級の子どもたちは、前時に顔合わせを行い、ハロウィンパーティーの大まかな見通しを持つことができている。教師は、子どもたちが安心して活動できるように、それぞれの苦手なものがないか、一人一人の活動に安全確保ができるか等、確認しながらハロウィンパーティーの場づくりを行ってきた。

本時はコスチュームへの着替えや、英語を介した歌・ゲーム等を通して、相手を見たり、声をかけ合ったりして関わることを主なねらいとしている。

まず、コスチュームに着替えることでハロウィンパーティーへの意欲を喚起し、外国のお祭りを体験する。その際、自分の姿や友だちの姿に興味をもてるように全身鏡やカメラを準備する。

次に、コスチュームをつけて、発声しやすい歌をきっかけに活動を始める。

そして、ハロウィンで使われる単語についてフラッシュカードで練習した後、そのカードを使ったカルタゲームを行う。その際、それぞれの活動がスムーズにいくようにサイズの異なるカルタの準備やグルーピングを行う。

Black cat ゲームでは、それぞれの感覚と“up”や“down”の声を手がかりに目隠しをして尻尾を位置に付けるゲームを行う。次に、参観している先生方に“Trick or treat.”と話しかけキャンディをもらいに行くことで外国の祭り（ハロウィン）を味わってみる。初めて接する大人に対して抵抗のある児童については、教師や友だちと一緒に活動ができるようにグルーピングしておく。

最後に、子どもたちに馴染みのある曲「Good-bye」の歌と一緒に歌い、ハロウィンパーティーの締めくくりとする。

7. 準備

子ども：キャンディボックス

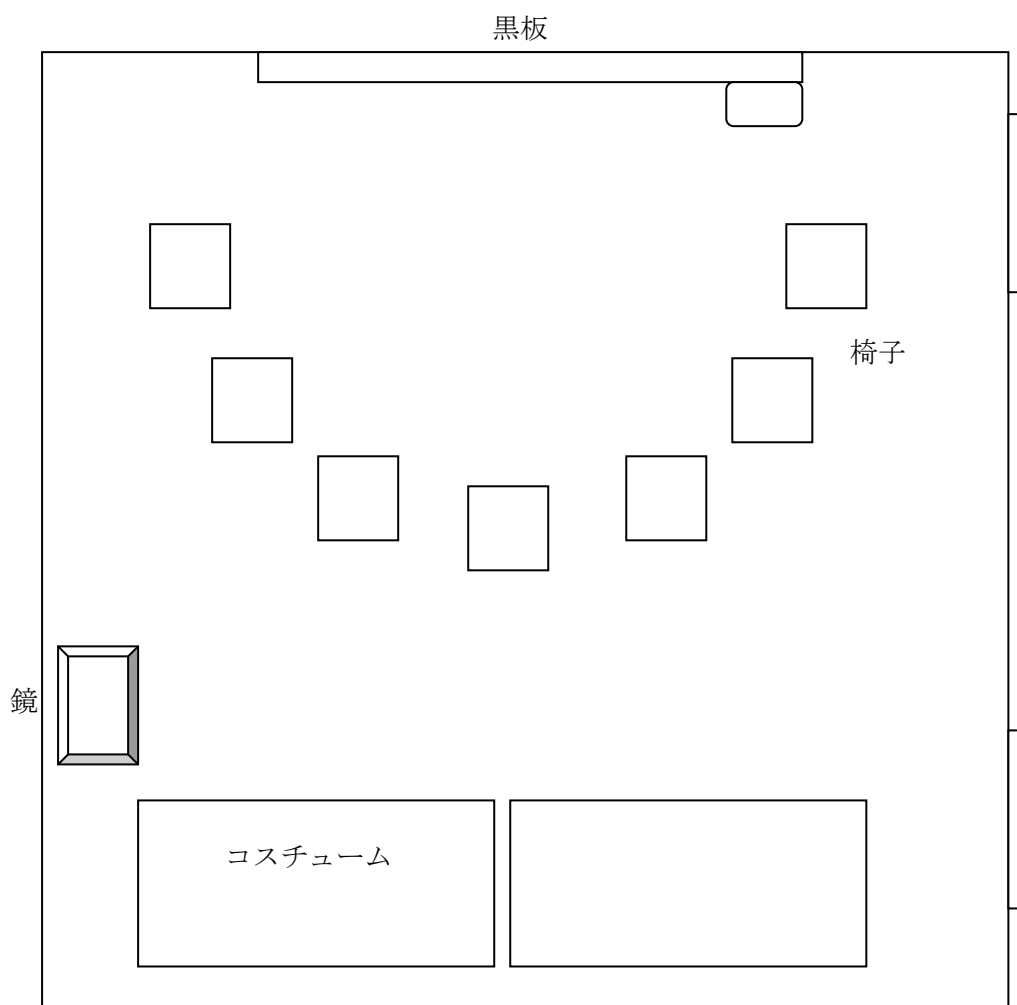
教師：ボード（活動の流れ） コスチューム 全身鏡 カメラ CDラジカセ
フラッシュカード カルタ キャンディ（外国製） キャンディボックス

8. 展開

学習内容	時間	教師の支援	資料・準備
1 コスチュームに着替える	3	○児童の興味に応じて準備しておいた Halloween のコスチュームをつけることで楽しい雰囲気にする。	コスチューム 全身鏡 カメラ
2 はじめのあいさつをする	2	・ Halloween party のはじまりに相応しく教師も元気に挨拶をする。	
3 めあてをつかむ	2	Let`s enjoy Halloween party!	めあてボード
4 歌「Hello」を歌う	3	○簡単な身振りを入れながら互いに向き合って歌うよう演示する。	CDラジカセ
5 Halloween で使われる単語について復習する	5	・フラッシュカードを使って単語を発声する。 ○○○○○・○○○○の児童でペアを作って代表で発声するよう指名する。 ○発声が難しい児童には教師の模倣をするように側で発音する。	フラッシュカード
6 カルタゲームをする	8	・ skeleton ・ ghost ・ spider ・ bat ・ black cat ・ monster ・ witch ○カルタの大きさや組み合わせを変える。	カルタ
7 歌「Ten Little Witches」を歌う	4	○“One” “Two” “Three”を手指で表しながら歌う。	絵カード CDラジカセ
8 black cat ゲームをする	10	○目隠しが気になる児童には、友だちの声を聞き取れるよう言葉で促す。	絵
9 “Trick or treat.”をする	5	・ 予め参観の先生方にキャンディボックスを配っておき、発声のできた児童にキャンディを渡してもらう。 ○一人での発声が難しい児童には、教師や友だちがついて一緒に発声するようにする。	キャンディ (外国製) キャンディボックス
10 歌「Good-bye to you」を歌う	2	○馴染みのある楽曲に合わせて歌う。	CDラジカセ
9 おわりのあいさつをする	1	○○○○○・○○○○学級の友だちと次に学習できることを楽しみに締めくくる。	

9. 場の設定

〇〇〇〇教室



1. 児童の実態とめあて (〇〇〇〇学級)

	かかわり方の実態	本時のめあて	主な支援
A 児 ・ 2 年	<ul style="list-style-type: none"> ・認識した相手には、促されて挨拶をしたり、自分の言葉で要求したりすることができる。 ・言葉だけでなく、アイコンタクトを入れた意思疎通ができるように取り組んでいるところである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の声かけや促し、友だちの呼びかけにこたえ、行動することができる。 ・見通しをもって、安心して活動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・慣れない場で、落ち着いた学習ができない時は、個別の作業課題を準備し、安心して学習できるようにしておく。 ・視覚的にわかりやすい教具を取り入れ、苦手な音は入れないようにする。 <p>※学習の流れ、絵カード、先行する教師の発声</p>
B 児 ・ 3 年	<ul style="list-style-type: none"> ・かかわりたい気持ちは強いが、言葉と表情の変化が少なく、相手に伝わらない時がある。好意をもつ相手には、積極的に知っている言葉で話しかけ、かかわることができる。 ・よいかかわり方を体感させているところである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の指示に従い、友だちと一緒に楽しんで活動することができる。 ・友だちを意識した発声や活動を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よいかかわり方、よい行動がはっきりわかるようにモデル提示する。 ・伝わる発声や友だちを意識した行動には、その都度、賞賛する。 <p>※体調に考慮し、運動量・発声量の多いものは控える。</p>
C 児 ・ 3 年	<ul style="list-style-type: none"> ・安心できる相手には、自分から話しかけ、積極的にかかわることができる。不安を感じると、固まってしまうことも多い。 ・いろんな人とかかわる状況を増やし、徐々に経験を増やしているところである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちの様子を見ながら安心して活動することができる。 ・友だちを意識した発声や活動を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動やかかわりが滞らないように、教師が演示する。 ・伝わる発声や友だちを意識した行動には、その都度、賞賛する。 <p>※読み物教材、友だちとの活動、教師の演示</p>
D 児 ・ 5 年	<ul style="list-style-type: none"> ・特に、大人に対して積極的にかかわろうとする。興味のある人・ものへは自分からかかわっていきこうとする。 ・気持ちのよいかかわり方ができるように、話し言葉や態度面で賞賛、修正しているところである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の話をよく聞いて活動することができる。 ・友だちを意識した発声や活動を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分からかかわろうとするよい態度、発言は全体に広げ、より積極的に活動できるようにする。 <p>※読み物教材、絵カード、教師の賞賛</p>

○関連教材

・10月のカレンダーづくり (図画工作)



「ハロウィンってなあに？」
主婦の友社
作 クリステル・デモワノー
訳 中島 さおり

「かぼちやのリバンベル」(チェーン・デコレーション)

「ハロウィンってなあに？」より

・読み物 (国語) ※ 絵や言葉を抜粋して

アメリカでは、思い思
いのかっこうをした
子どもたちが よそ
うちを 一けん一けん
たずねながら、おかし
やプレゼントをねだる
んだよ。
「おかし くれなきや
いたずら するぞ。」
ってね。

・朝の歌 (朝の会)

「Hello」

「Ten Little Witches」・・・ 10枚の絵カード

「Good-bye to you」・・・ 馴染みのある曲を使っ
て